

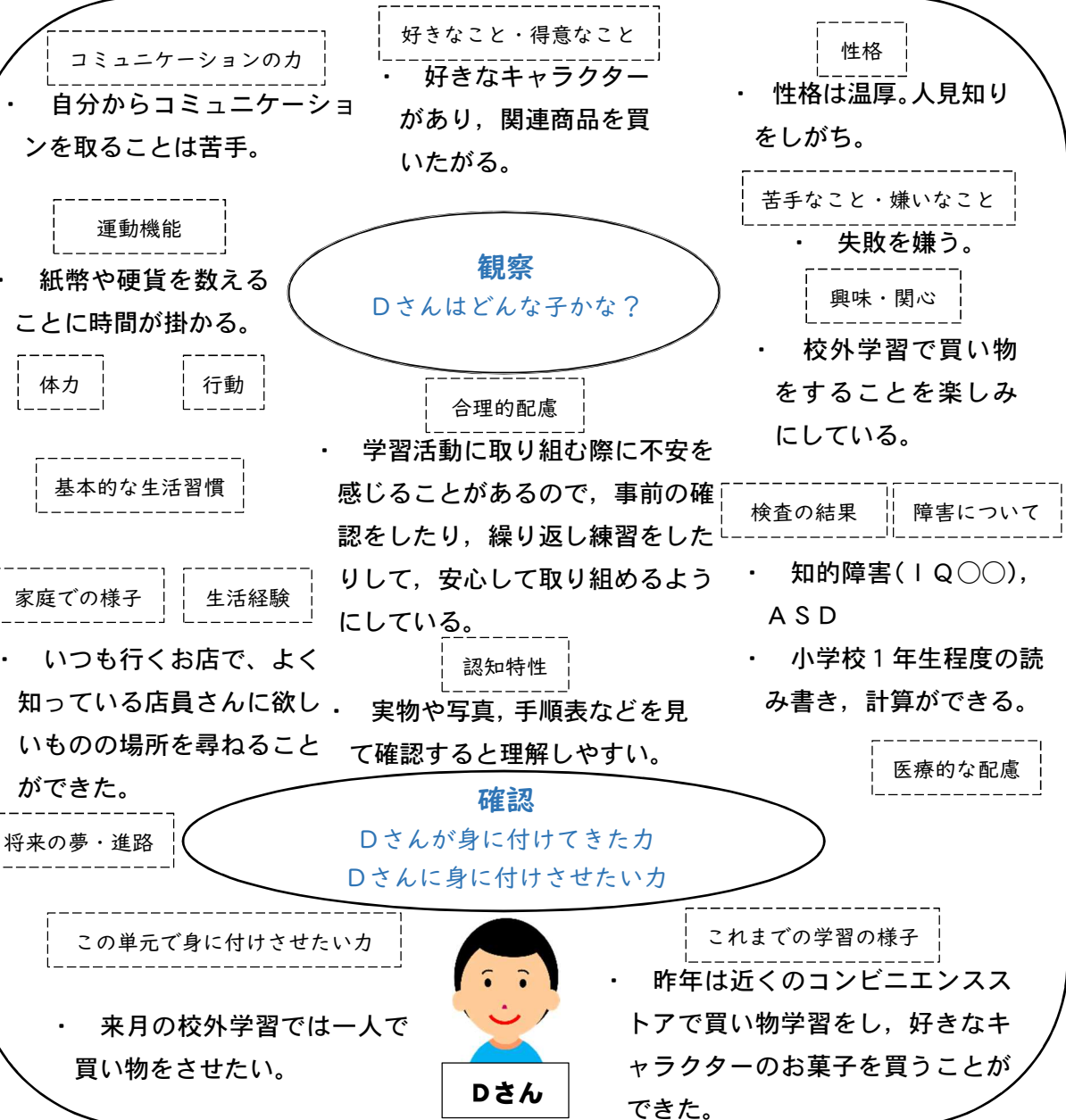
Step 1 実態を把握する



どうやって実態を把握すればよいですか？

児童生徒の障害の状態や個性は、一人一人異なります。そのため、授業づくりにおいては、的確な実態把握が大切です。障害名や診断名を参考にしつつも、目の前の児童生徒一人一人の姿を見つめましょう。例えば、休み時間に一緒に遊んだり、話をしたりすることで、児童生徒の姿が見えてきますよね。

生活単元学習「目指せ！お買い物達人！（買い物学習）」をするにあたって、Dさんの実態把握をし、単元と関わりのある部分を抜き出してみたのが以下のものです。



観察するとき… 一緒に関わりながら観察したり、少し離れたところから他の教員や友達と関わりながら観察したり、一人での過ごし方を観察したりします。

確認するとき… 「保護者からの聞き取り」「本人の言動」「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」「昨年からの引き継ぎ」「他の教員からの聞き取り」「検査の結果とその解釈」等を参考にします。